



じどうしつだより



2017 ねん10がつ

えべつしじょうほうとしょかん

あたらしくはいったおすすめえほん！



『うるさいアパート』

マック・バーネット／文

ブライアン・ビッグズ／絵

椎名かおる／訳 (あすなろ書房)



どの階からも、大きな声やふしぎな音が聞こえてくるにぎやかなアパートのお話です。ここには、いろいろな人や動物が住んでいて、とても楽しそうだけど、夜はうるさくてねぶそくになりそう。上の階には、こわそうなおじいさんがいるから、みんな静かにした方がいいかもね。



『なんにもせんになん』

唯野 元弘／文

石川 えりこ／絵

(鈴木出版)



遊んでばかりいる若者がある日、つぼに入った小さな男と出会い、家に連れて帰ります。ところが、若者が遊ぶと男の体がどんどん大きくなり、家がかわれそうになりました。若者が困っていると、村人から稲刈りの手伝いをたのまれ、しぶしぶ働き始めますが、家に戻るとさらに意外なことが起きました。



『おにぎりのひみつ』

かとうまふみ／作・絵

(フレーベル館)



おいしいと評判のおばあちゃんのおにぎり屋さんの前には、毎日行列ができています。おばあちゃんがおにぎりを作る様子を、お店の屋根裏に住む小さな男の子がこっそりとのぞきにきました。

男の子は、おいしさの秘密を知ることができたでしょうか？



『おつきみバス』

藤本 ともひこ／作・絵

(鈴木出版)



バスにのって、お月見にでかけたねずみたち。ながめのよいおからから、お月さまを見ていると、突然うさぎがあらわれて、おそなえのおだんごを盗んで逃げて行きました。ねずみたちは必死に追いかけて、うさぎをつかまえますが、うさぎは自分が食べたいからおだんごを盗んだのではなかったのです。



『こうえんのかみさま』

すぎはら ともこ／作・絵

(徳間書店)



まあちゃんが、公園でとんぼだと思ってつかまえたのは、とんぼ型の飛行機に乗った「こうえんさま」という小さなおじさん。「こうえんさま」は、泣き虫でたよりなさそうですが、まあちゃんが、お友達のけんちゃんと遊びたいと言うと、「その友達に、明日すごいものを見せてやる。」と答えて飛び去りました。さて、次の日に、「こうえんさま」が見せてくれた「すごいもの」とは何でしょう？



『えほん図鑑 へんてこ！
みずのぜつめつどうぶつ』

はた こうしろう／作

(アリス館)



大昔にタイムスリップした男の子が、さまざまな海の絶滅動物と出会いながら、地球の進化の歴史を学んでいくストーリーです。現代の地球上では想像もできないような、すごい動物がたくさん登場します。たとえば5億年前には、新幹線(1両の長さ25メートル)よりも長い、28メートルもある魚が海を泳いでいたそうですよ。



おはなしかいカレンダー10がつ



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	休館日					 オリオンの帯
8	9	10	11	12	13	14
	休館日					
15	16	17	18	19	20	21
	休館日					
22	23	24	25	26	27	28
	休館日				 図書整理日 (休館日)	 おはなしポケット
29	30	31				
	休館日		= おはなし会 = 本館 = 大麻分館 = 江別分館 = 大麻おはなしなあに			

ほんかん

じどうしつおはなしコーナー

かようび 10:30~

- 3日 すずきさん
- 10日 かたぎりさん
- 17日 すずきさん
- 24日 まつやまさん
- 31日 まつやまさん

もくようび 10:30~

- 12日 うるうるてい
- 26日 ねぎぼうず

どようび

- 7日 オリオンのおび(10:30~)
- 14日 としょかんのひと(14:00~)
- 28日 おはなしポケット(10:30~)
- としよかんのひと(14:00~)

※おはなし会は「道民カレッジ連携講座」に指定されました。



おおあさざんかん

おおあさこうみんかん
大麻公民館

- もくようび 10:30~ ねがみさんとかたぎりさん (5・12・19・26日)
- きんようび 10:30~ おはなしなあに (6・20日)
- どようび 10:30~ おはなしなあに (14・28日)

えべつざんかん

ちゅうおうこうみんかん
中央公民館

- もくようび 10:30~ さいとうさん (5・12・19・26日)
- どようび 14:00~ さいとうさん (7・21・28日)



すずきさんからの あたより



あつというまに寒くなりお部屋で過ごすこともふえますね。
 図書館には本がいっぱい、たくさん借りてたくさん読んでみてね。
 今日もおもしろい本、じっくり見られるおすすめの本を紹介いたします。

『くじらさんの一た一めならえんやこーら』

うちだ りんたろう さく / やまむら こうじ え (鈴木出版)

くじらさんのためにたくさんの海の仲間がなにかするよ！そうすると、くじらさんはどうなっちゃうのかな…おはなしの結末は…自分でたしかめてみてね。



『サンカクさん』

マック・バーネット 文 /

ジョン・クラッセン 絵 / 長谷川 義中 訳 (クシヨンハウス)

サンカクさんとシカクさんの楽しいおはなし。長谷川さんの関西弁がきいています。ふたりともちょっぴりわがままでけど、ほんとうはなかよしのはず…？ ふたりの友情をそのまま感じてくださいね。



『なつみはなんにでもなれる』

ヨシタケ シンスケ さく・え (PHP研究所)

なつみの大変身はとってもステキ。子どもはこんなファンタジーの世界を過ごしてるんだなあ…てうらやましくなっちゃいます。お母さん、お父さんも子どもと一緒に楽しめる、そんな一冊です。



『くまこやまねこ』

湯本 香樹実 ぶん / 酒井 駒子 え (河出書房新社)

しっとりとした秋におすすめの本。こちらは友だちを思うやさしい気持ちがテーマです。あたらしい本ではありませんが、良い本は何度読みかえてもいいものです。小さい子にもぜひ読んであげてほしいです。

